

「あかはだ焼き」っていいね

奈良市西部に位置する五条山は別名を赤膚山といい、この地で焼かれた陶器は赤膚焼と呼ばれ愛され、現在も諸窯が盛業しています。

古来、赤膚山のある西ノ京の丘陵あたりでは瓦や土器、火鉢が生産されました。室町時代頃には、茶の湯に用いられる風炉(土風炉)が作られ、奈良風炉としてその名があります。

江戸時代、遠州七窯(大名茶人・小堀遠州が指導して好みのやきものを制作した七つの窯)のひとつに数えられ、茶陶とゆかりの深いやきものとして知られます。江戸時代後期、郡山藩主・柳沢保光(堯山)の後援を得て発展し、保光没後は一時不振をみますが、奥田木白の登場によって隆盛を迎えます。

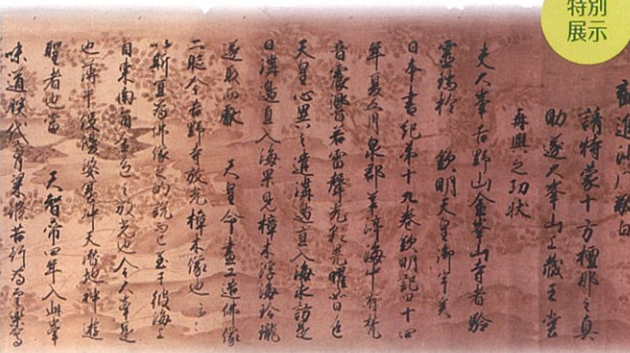
木白は楽焼をはじめ、瀬戸焼、萩焼、唐津焼、京焼などを研究し、作陶しました。「奈良絵」と呼ばれる大和絵風の絵付け茶陶は印象的です。心を和ませる温かみのある器は、東大寺や春日大社などの門前茶屋などでも親しまれてきました。

奈良は松花堂昭乗とゆかりの深い場所です。昭乗は奈良の春日に生まれたといわれ、兄の元知は興福寺一乗院門跡に出仕しました。昭乗は若い頃、吉野山で修行したいと願っていました。それは叶いませんでしたが、晩年、隠居ののち江月和尚と共に吟行の旅にでています。

展覧会では、昭乗もあこがれた奈良の魅力を、赤膚焼を通してご紹介します。



入江泰吉「陽春大仏殿」(1991年)入江泰吉記念奈良市写真美術館蔵



特別展示

松花堂昭乗筆「大峯山蔵王堂勸進帳」元和2年(1616) 金峯山寺蔵

※金峯山寺蔵王堂では、令和2年3月28日(土)~5月6日(水・休)の期間、秘仏本尊特別ご開帳が行われます。

ギャラリートーク

~特別編~

「赤膚焼の魅力」

講師：辻井 由紀子 (赤膚焼研究家)

日時：令和2年3月29日(日)

午後1時30分より <約40分>

場所：展示室 *申込不要(要観覧料)

【学芸員による展覧会ポイント解説】

開催日：3月22日(日)、4月5日(日)、

4月19日(日)、5月3日(日祝)

時間：各日午後1時30分より <約30分>

集合場所：展示室 *申込不要(要観覧料)

呈茶席

~赤膚焼で味わう八幡のお茶~

日時：令和2年4月26日(日)

①午前11時~ ②午後2時~

場所：庭園内 松花堂美術館別館

席主：影山 純夫 (神戸大学名誉教授、当館学芸顧問)

料金：1,000円

定員：各回15人(要申込)

申込受付開始日：3月14日(土)より

申込方法：お電話またはFAX、ご来館にてお申し込みください



6

- 1. 大仏様徳利 2. 春日御水茶屋火打焼皿
3. 春日御水茶屋火打焼皿 奥田木白
4. 名物をいと餅皿 5. 黄瀬戸独立鶴茶碗
6. 扇形色絵香合 奥田木白 いずれも個人蔵

ACCESS



【交通のご案内】

- 京都駅から近畿電車「丹波橋」駅で京阪電車に乗り換え(大阪方面)
●京阪電車「石清水八幡宮」駅または「樟葉」駅から京阪バス「大芝・松花堂前」下車すぐ
●JR学研都市線「松井山手」駅から京阪バス「大芝・松花堂前」下車すぐ



Google マップ

【松花堂庭園(国指定史跡・名勝)】

平成30年6月18日に発生した大阪北部地震の影響により、松花堂庭園は外園のみ開園しております。詳しくは電話にてお問い合わせください。

【開園時間】午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)

【休園日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌平日)

*展覧会開催中の休園日は、美術館の休館日に準じます

【料金】一般100円 学生80円 こども50円

*4/3(金)~4/5(日)のつばき展開催中は、入園料が異なります



●ボランティアガイドによる庭園案内 / 無料(要予約)

八幡市立松花堂美術館

【京都吉兆 松花堂店】

「吉兆」の創業者・湯木貞一が、松花堂昭乗の「四つ切塗箱」をヒントに生み出した「松花堂弁当」。地元野菜、季節の鮮魚で彩られた「松花堂弁当」を、昭乗ゆかりの地で是非ご賞味下さい。

※ご予約は吉兆松花堂店(075-971-3311)まで

〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43-1
tel. 075-981-0010 fax. 075-981-0009
http://www.yawata-bunka.jp/syokado/